



お知らせ

- #ヨーロッパナショナル・トラストの旅 イタリア編 6月27日(月)～7月5日(火)
- #畑儀文の合唱教室 7月11日(月) 草志舎
- #セミナー(東京) 7月23日(土) 自由学園明日館
- #六甲山荘ベンガラ塗り 8月6日(土)
- #シンポジウム 8月8日(月)～10日(水) 六甲山荘
- #セミナー 9月10日(土) 草志舎

!8月のシンポジウムをみんなで成功させましょう!

アメニティ 2000 協会はナショナル・トラスト運動を活動のひとつの柱にしています。この運動が日本でより広く理解され、定着し、貴重な文化遺産を保護していく心を市民が共有することが協会の大きな目的でもあります。その端緒として次のようなシンポジウムを開きます。

月日 : 8月8日(月)～10日(水) 場所 ヴォーリズ六甲山荘

テーマ: 「ナショナル・トラストの可能性」

スケジュール: 8日午後 ナショナル・トラスト運動の概要と一つの試み

<清水彬久 アメニティ 2000 協会理事長 > <清水順子 アメニティ 2000 協会事務局長 >

9日 午後 ナショナル・トラスト研究者による発題

<顕原澄子 千葉大学大学院准教授 > <山本真紗子 東京工業大学博士課程 >

10日 午後 ナショナル・トラストの課題—法律面・建築面

<米津寛司 旧武藤山治邸館長 > <岡崎行師 弁護士 >

*9日、10日は午前10時よりワーク(ベンガラ拭き込み)を行ないます

定員: 30名

参加費: 全日参加 会員 3000円 一般 4500円 学生 1500円

一日参加 会員 1500円 一般 2000円 学生 500円

ぜひお知り合いにお声をかけてお誘いください。

シンポジウムのスタッフ募集

8月のシンポジウムは3日間にわたって大勢の講師と参加者をむかえる大イベントです。これをささえるスタッフ、シンポジウムの裏方を募集しています。内容、日取り、必要な人数は次のようになります。

- ・厨房担当 3～4人(昼食の準備、片付けと懇親会の準備)
昼食 参加者と発表者<8日、9日、10日>
懇親会 <8日、9日>
- ・シンポジウム進行係 3人<8月8日、9日、10日>
- ・宿泊担当 3人 <8月7日、8日、9日>
- ・車担当 2台 懇親会のあと参加者の下山のため
<8日、9日>

スタッフへのご参加は同封の用紙、あるいはメールでお申込みください。

ベンガラ塗りに挑戦!

今年は六甲山荘の板壁塗り替えの年です。夏の大作業で、次のように行ないます。

- ・板壁洗い
作業日 7月25日(月)
- ・ベンガラ塗り
作業日 8月6日(土)
- ・ベンガラ拭き込み
作業日 8月9日(火)
10日(水)
シンポジウムのワークとして作業



ベンガラはペンキとちがって塗るのはだれでもできます。ただ塗る面積が広いので大勢の人手が必要です。また事前の板壁洗いも大勢で一度にすませたいと思います。どうぞご参加ください!

【コラム】

8月はシンポジウム

清水 順子

今年の夏はシンポジウムをひらきます。テーマは「ナショナル・トラストの可能性」。歴史的資産や自然遺産を守っていくのに効果のあるナショナル・トラスト活動について、もっと大勢の人に知ってほしい、関心のある人たちと語り合いたいという場です。詳細についてはすでにご案内しているとおりですが、8月8日から10日の3日間、場所はヴォーリズ六甲山荘です。

このシンポジウムの特徴は二つあります。

一つは日本ではまだ少ない研究者お二人（潁原澄子さんと山本真紗子さん）にお話しを伺うこと。そして日本における課題について、現場での経験の豊富なお二人（米津寛司さんと岡崎行師さん）から具体的な問題点について語っていただくことです。

もう一つは、ナショナル・トラスト活動では欠くことのできないワークの体験です。プロパティの維持管理にはボランティアによる作業が不可欠ですが、今回はその作業を参加者にも体験してもらいます。六甲山荘は今年が板壁の塗り直しの年にあたりますので、それをワークにとりいれます。事前に塗っておいたベンガラを拭き込む作業です。涼しい山上で少しのあいだ体をうごかしてプロパティの維持にかかわることは、参加者にもいい経験になることでしょう。

皆さんもこのシンポジウムに参加してみませんか。あるいはスタッフをしてみませんか？ お待ちしています！！

ご報告 セミナー第2回 5月14日（土） 草志舎

講師はヴォーリズ記念館（近江八幡）館長の藪秀美さん。ヴォーリズの人となりやエピソードなど、人間像を中心にお話しを伺いました。闊達な語り口であつという間に時間が過ぎました。



ご報告 畑儀文の合唱教室 5月16日（月）6月20日（月） 草志舎

今年はアンサンブル・アメニティの結成10周年にあたります。2017年1月29日に記念コンサートを開催することになりました。合唱教室の皆さんにはまた企画実行委員をお願いします。合唱のハーモニーにまけないチームワークが発揮されるのを楽しみにしています。

2016年度セミナー「足跡を探访する」 第4回 at 東京

＜主催：東京地区企画委員会、ナショナル・トラスト研究会＞

セミナー上期の4回目は東京で行います。英国ナショナル・トラストが自然資産・歴史資産の保全に大きな成果をあげていること、アメニティ2000協会がナショナル・トラスト運動を実践していることを訴えます。日本でもナショナル・トラスト運動が広く根付くようにとののはたらきかけの第一歩です。

日時 2016年7月23日（土）16時30分（16時15分受付開始）

場所 自由学園明日館 大教室タリアセン（東京都豊島区西池袋 2-31-3）

題 「ナショナル・トラスト運動の試み—アメニティ2000協会の歩み」

講師 清水彬久理事長

定員 35名（定員に達し次第締め切り）

参加費 1,500円（お茶代含む）

オプション 目白ヶ丘教会と雑司ヶ谷旧宣教師館訪問 13時JR目白駅集合 参加費300円

ご報告 2016年度通常総会 5月21日（土） 草志舎

出席者と委任状で定足数に達し、総会は成立。米津寛司さんの議長のもと、すべての議案が承認されました。そのあとの懇親会ではにぎやかに和やかに食事と歓談を楽しみました。安永順一さんの写真、山田晴美さんの木工作品もならんで、皆の目を楽しませてくれました。



ご報告 コウノトリの郷との交流 5月29日(日) 豊岡

思いがけず晴天に恵まれた田植えでした。田んぼのなかにはいろいろな生き物(ヒルもふくめて)がいて、“たのしい”作業でした。今年はお昼ごはんは豆ご飯を炊いてくださって、季節の味を楽しみました。亀田さんの体験記にも出てきますが、このごろはコウノトリが当たり前のように見られますし、ほかにもサギやトンビなども飛んでいて、農家の方々の取り組みの成功がよくわかります。



ご報告 ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク大会 6月4日(土) 軽井沢

ヴォーリズをはじめ多くの外国人が夏をすごした別荘地軽井沢には今も往時の建物がたくさん残っています。今回の大会はヴォーリズ設計のユニオン・チャーチで開かれました。関西学院の新しい院長田淵結氏が「ヴォーリズがいつも癒された別天地・軽井沢」と題して講演されました。2日目の見学会も多くの参加者があって盛会でした。



《第1回 ナショナル・トラスト研究奨励賞》

日本のナショナル・トラストの研究者を育成し この運動を定着させるために 優れた研究を顕彰する奨励制度をもうけました。日本ではまだ少ないナショナル・トラスト研究者への応援となり、関心が深まることを願っています。

対象：ナショナル・トラストに関する学術論文 2015年4月以降発表のもの または未発表のもの
応募締切：2016年12月31日到着分まで
応募要項：ホームページに掲載されています

ご報告 セミナー第3回 6月11日(土) 草志舎

堀井清孝さんが印刷会社の強みを生かして地域誌「やまとびと」を創刊した経緯、なぜ奈良には縁がないヴォーリズ建築を連載しているか、など地域への想いのこもったお話しでした。カメラマンの岡下さんからも撮影の苦労話なども伺いました。



ご報告 六甲山荘作業 6月20日(月)

梅雨の晴れ間の一日、屋内外の大掃除をしました。石窯のテントを新調し、庭の笹や雑草を刈り、納屋の整理と、男性陣は広い庭内で大活躍です。女性陣は宿泊シーズンにそなえて、寝室や管理入室、風呂場などの徹底掃除と整理整頓をしました。気持ちのいい汗をかいた一日でした。

◆◆おしゃべリアラカルト◆◆

コウノトリの郷での田植え体験

亀田 絹

幼かった頃、近所の田んぼに、すきを引く牛とお百姓さんの姿があったことをかすかに覚えています。以来、一度は田植えをしたいと思っていました。

5月29日10時半、豊岡市立地域農業管理施設に集合。指導していただく(なわて)さんは、コウノトリの郷営農組合の前組合長。昨年(2015)上期アメニティセミナー(7

月)では「自然と社会との共生の実験」というテーマで講演されたが、無農薬で米作りするための土作り・水の管理や生き物調査など多岐に渡る話題は興味深く、その穏やかで温かな語りにも感銘を受けました。

さて、到着後軽く休憩し、まずは田植えの身支度。素足で田に入る人はヒルに吸付かれないようひざ上までであるソックスを着用し、長靴派は脱げないよう長靴のかかとと足先をゴムバンドで固定。日除け帽を被りあぜ道を行進。いざ、田んぼへ！

無農薬の場合、雑草対策の為。田植えは他より遅めの5月末。一旦芽吹かせてから田にすきこむ操作を少なくとも2回行い、雑草の発生を防いでいるとのこと。糖蜜（サトウキビの糖分を抽出した残りかす）を田に入れるのは、土壌の改善と日光が底まで届くのを遮る雑草対策であること、カエルのこと、鹿の食害など、いろいろと教えていただく。見上げると上空をコウノトリが舞い、向うの人口塔には2羽のひなと親鳥。私たちが必死で悪戦苦闘した一角は、周囲の整然とした苗の並びようとはあまりにも違い、大笑いしたくなる。でも、“大丈夫、育ちますよ”と啜さんは言ってお下さる。とても楽しい経験でした。

昼食は、啜さんの奥様と清水さんの手料理の数々。新鮮な野菜や丹後の海の幸、こだわりのピーナツなどなど。おいしかった。ごちそうさまでした。

楽しい思い出を持ち帰ることができました。ありがとうございました。



六甲山荘便り

4月、5月の六甲山荘

今年は4月から例年より来場者が多いようです。団体による見学も6件ありました。

春の連休は4月29日から5月8日まで連続オープンして、茗荷恭介さんの作品展が開催されました。「子供の時間」と副題のついた銅人形が中心で、テーブル、イス、文房具などなどがならび、会員の山崎さんご夫妻の版画と書のはいった額縁もすてきでした。連休でしたがスタッフの皆さんががんばってくださって、のりきることができました。茗荷さんからは売り上げの20%をご寄付いただきました。

来場者 392名



*次の方々から継続会費をいただきました。ありがとうございました。(氏名省略)

*9名の方々が入会されました

ヴォーリス六甲山荘の宿泊

六甲山荘には7月から9月のあいだ会員とその家族が宿泊できます。静かな夜の語り、さわやかな庭での朝食・・・夏別荘の魅力を堪能できる滞在です。ぜひお試しください。なおお申込みはなるべくはやくお願いいたします。

料金 会員 3,000円、一般 5,000円 (小学生以下は半額)

宿泊室 洋室(定員2名)が2室、和室(定員2名)

食事 材料持ち込みのうえ自炊あるいは外食

バーベキュー用の道具・炭もあります。

(使用料1000円)

寝具は用意いたします。洗面具、寝巻等はおもちください。

*山荘の敷地内は禁煙です。ご協力をお願いいたします。

越智さん(大三島)の畑が認証されました

会員の越智資行さんは愛媛県の大三島で柑橘栽培と多品種の野菜栽培を、土と生物の本来の生命力を最大限に引き出して行う自然農法で取り組んでおられます。このたび越智さんの野菜畑が公益財団法人自然農法国際研究開発センターから「**自然農法実証ほ場**」に指定されました。

自然農法国際研究開発センターは“化学肥料や合成農薬に頼らずに、自然界の仕組み、特に土の偉力を最大限に活用する自然農法の技術確立、普及を目指して、試験研究、教育研修、国内外への普及活動に取り組んでいる”(HPより引用)公益財団です。その実証ほ場に指定されたということは、越智さんが長年努力してこられた野菜づくりが認められたことであり、研修生の受け入れも積極的にしてこられた実績も認められたのだと喜ばしいことです。

アメニティ2000協会は毎年越智さんのミカンとハッサクを頒けていただいて、その自然なおいしさを堪能しています。同じ会員として、消費者として、うれしいニュースですね。

六甲山荘宿泊スタッフを求めています

六甲山荘では7月から9月に宿泊をお受けしていますが、そのときのスタッフを募集しています。

仕事の内容は宿泊者のお迎えと送りだし、寝具、風呂の準備、後片付けなどです。会員のペア（ご夫婦あるいはお友だち）一組で担当していただきます。

宿泊スタッフに登録していただくと、宿泊の申し込みがあったときに、事務局から〇〇日にスタッフができますかと打診して、ご都合があえばお願いすることになります。

夏のあいだのすずしい一仕事、いかがですか？



満開のコアジサイ

コウノトリの郷との交流



人工巣塔の上の親子